

令和2年度第1回長野市歴史的風致維持向上協議会会議記録（概要）

日時 令和2年8月7日（金）
午後3時～5時
場所 職員会館 3階会議室

出席委員 13名

赤羽委員、牛山委員、北村委員、小林（玲）委員、土本委員、梅干野委員、宮下委員、香山委員、古畑委員、徳武委員、小林（司）委員（代理出席）、塚田委員、岩片委員（代理出席）

（2名欠席 清水委員、樋口委員）

1 開 会

定足数の確認

2 委員の委嘱及び紹介

3 会長及び職務代理者選出

4 会長及び職務代理者挨拶

5 諮問

長野市歴史的風致維持向上計画の令和2年度進行管理・評価及び計画の変更について

6 協議事項

(1) 令和2年度の長野市歴史的風致維持向上計画事業について

・説明	事務局：資料1により、令和2年度の長野市歴史的風致維持向上計画事業について説明。
・質問	コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在、様々な事業が中止や延期となっている。屋台巡行についても、曳き手は高齢化などで今後激減することが想定される中、継承のためには組み立てて実際に曳くことが大切である。伝統行事をしっかりと継承するために、市としてどのような取り組みを検討しているのか。
・回答	コロナ禍の収束を見据えて、屋台巡行に係る補助金は引き続き予算化していきたい。巡行のための検討も行って参りたい。
・質問	「城山公園再整備事業」について、歩道橋は元来、小学生の登下校の安全に資するためにできたものと思うが、撤去後の安全性の確保について尋ねたい。
・回答	歩道橋は既に撤去をした。県の公安委員会との協議などにより、車道と歩道が分離されたスクランブル式の交差点の整備を検討している。安全性の確保については十分配慮している。

・意見	「城山公園再整備事業」について、歩道橋の撤去により、景観が向上した。善光寺と建設中の美術館を回遊する来訪者の増加が期待されるので、特に子供や高齢者の安全性については、十分配慮してもらいたい。
・質問 ・説明	「戸隠神社奥社社叢保存活用推進事業」について詳しく説明をしてもらいたい。 戸隠奥社参道などの杉並木が台風や歩行者の増加の影響を受けており、状態の悪化が懸念されることから、長野県指定天然記念物である戸隠神社奥社社叢の保存活用計画の策定に対し協力するものである。国営公園として機能もあるため、多方面の専門家の意見を聞きながら、計画を策定しているところである。
・意見 ・回答	松代地区の数多い歴史的建造物に対し、継続的な保存活用事業を積極的に行っていることに感謝する。伝統環境保存条例に基づき、伝統環境保存事業が実施されているが、宅地開発により、町並みの一部が崩れ始めている。町並み保存のための地元の理解を深めるために、より積極的に力を入れて欲しい。 歴史的町並みの一角が崩れていくことに、市としても大変悩んでいる。保存に対し強い意向をお持ちの地元住民などと協力しながら対応していく。
・質問 ・回答	「大室古墳群アクセス道路整備事業」で、地元協議が進展しているという報告があり嬉しく思う。事業化の見通しについて尋ねたい。 当初想定していたルートは変更し、地元からは、沿道の地権者とは全て同意が取れたとの報告をいただいた。財政的な問題はあるが、できるだけ早い事業化に向けて取り組んで参りたい。
・質問 ・回答	「松代町文化財美観向上推進事業」について、自然災害（令和元年東日本台風による水害）により被災した建造物への支援の取り組みは、心強く感じる。長明寺にはいくつか建物があるが、どのような補助がどの建物に適用されるのか教えて欲しい。登録文化財に対して国の補助率65%というのは、非常に高い補助率であると思う。 登録文化財の修理に対する補助事業は無いが、当該事業は、松代地区の観光拠点を磨き上げる事業である。観光拠点の美観向上のために、観光庁と文化庁双方から補助を受ける事業である。
・意見	鬼無里神社の屋台の修理への支援はありがたい。修理の過程等を幅広く市民に公開してもらおうよう要望する。
・意見 ・回答	資料1の計画事業一覧に一項目を加えて、それぞれの事業の対象となる文化財を明記すると、この一覧表がより分かりやすいものになる。 御意見を反映するよう検討する。
・質問 ・回答	鬼無里地区の諏訪神社の御柱祭の開催時期は決まったのか。 予定では令和4年5月であるが、地元で検討中と聞いている。

(2) 中間評価シート及び中間評価を踏まえた今後の事業展開について

・説明	事務局：資料2及び資料3により、中間評価シート及び中間評価を踏まえた今後の事業展開について説明。
・意見	地元松代でも住民アンケートを行った結果、行政がこれだけ多くの事業を展開しているにも拘らず、住民の理解が進んでいないことは反省すべき点である。

	ホームページなどにより周知する方法もあるが、住民自治協議会が毎月が発行する広報誌に歴史的風致維持向上計画に関する記事を投稿したり、伝統環境保存地区の住民を対象にした勉強会を開くなど、行政がダイレクトに住民にアピールする取り組みの方をより積極的に進めてもらいたい。
・ 回 答	より積極的に取り組んで参りたい。
・ 意 見	中間評価は資料のとおりで良いと思う。今後の課題として、文化財等未指定物件を含めた総合的な把握が大切である。熊本では震災後、未指定の文化財の扱いに関するルール作りをした。この点では先進地である。令和元年東日本台風により被災した長沼地区では、歴史的建造物の修理などにボランティアが協力していたが、かなり良い歴史的建造物でも解体されているものもある。未指定の文化財をどう扱うかは、長野市、長野県の課題である。
・ 回 答	改正文化財保護法の中に、文化財保存活用地域計画が位置付けられ、本市でも策定のための調査研究を始めている。市内には未指定の歴史的建造物が数多くあるため、この計画の中でどのように取り扱うかを検討して参りたい。

(3) 長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価の実施について

・ 説 明	事務局：資料4により、長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価の実施について説明。
-------	---

(4) 歴史的風致活用国際観光支援事業について

・ 説 明	事務局：資料5により、歴史的風致活用国際観光支援事業管理・評価の実施について説明。
-------	---

事務連絡

- ・ 本会議の公表及び今後の協議会開催予定について

本会議の概要書を委員宛に送付しホームページで公表すること並びに計画の進捗評価及び計画変更について審議をいただくため令和3年2月頃に次回協議会を開催する予定について説明。

7 閉 会